

調査結果の概要

[1] 学校調査

1 幼稚園

(1) 幼稚園数は186園(国立1園、公立121園、私立64園)で、前年度より2園減少している。

私立幼稚園を設置者別にみると、学校法人立58園、個人立4園、宗教法人立2園となっている。

(2) 学級数は519学級で、前年度より14学級減少している。

(3) 園児数は9,967人(男子4,989人、女子4,978人)で、前年度より396人減少している。年齢別では、5歳が4,699人(47.1%)で最も多くなっている。

また、設置者別では、私立7,082人(71.1%)、公立2,738人(27.5%)、国立147人(1.5%)となっており、昭和62年度から連続して私立が国・公立の園児数を上回っている。

(4) 教員数(本務者、但し教育補助員は除く)は913人(男性57人、女性856人)で、前年度より13人増加している。本務教員1人当たりの園児数は10.9人で、前年度より0.6人減少している。

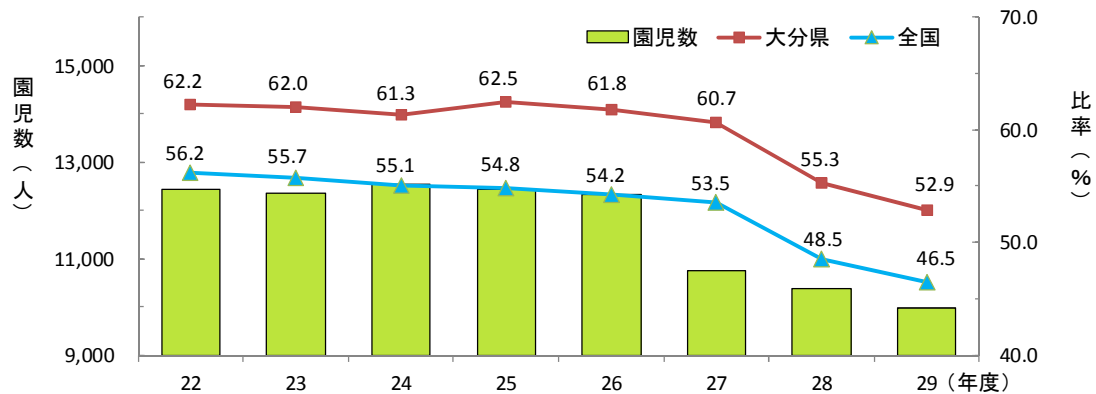
(5) 小学校及び義務教育学校第1学年児童数に対する幼稚園修了者の比率は52.9%で、前年度より2.4ポイント低下している。全国平均は46.5%となっており、前年度より2.0ポイント低下している。

表 1 幼稚園の状況 (単位：園、学級、人)

区分	園 数				学級数	園 児 数				前年度 修了者数
	計	国立	公立	私立		計	3歳	4歳	5歳	
平成22年度	226	1	152	73	649	12,427	2,506	3,848	6,073	6,415
23	222	1	148	73	627	12,350	2,526	3,983	5,841	6,213
24	220	1	146	73	626	12,544	2,621	3,904	6,019	6,035
25	216	1	141	74	629	12,433	2,534	3,917	5,982	6,327
26	215	1	140	74	609	12,320	2,617	3,820	5,883	6,282
27	197	1	131	65	556	10,742	2,277	3,256	5,209	6,205
28	188	1	123	64	533	10,363	2,252	3,119	4,992	5,469
29	186	1	121	64	519	9,967	2,264	3,004	4,699	5,312

(学級数は0人の学級を含む)

図 1 園児数及び小学校(義務教育学校)第1学年児童数に対する幼稚園修了者数比率の推移



2 幼保連携型認定こども園

- (1) 幼保連携型認定こども園数は71園(公立4園、私立67園)となっている。
 私立の園を設置者別にみると、学校法人立9園、社会福祉法人立58園となっている。
- (2) 学級数は275学級で、前年度より20学級増加している。
- (3) 在園者数は8,389人(男子4,428人、女子3,961人)となっている。
 年齢別では、4歳児が1,895(22.6%)で最も多く、次いで3歳児1,879人(22.4%)、5歳児1,831人(21.8%)、2歳児1,234人(14.7%)、1歳児1,167人(13.9%)、0歳児383人(4.6%)の順となっている。
- (4) 教育・保育職員数(本務者)は1,369人(男性93人、女性1,276人)となっている。
 1人当たり在園者数は6.1人となっている。
- (5) 小学校及び義務教育学校第1学年児童数に対する幼保連携型認定こども園修了者の比率は18.1%となっている。全国平均は9.5%となっている。

表2 幼保連携型認定こども園の状況 (単位：園、学級、人)

区分	園数			学級数	園児数						前年度 修了者数	
	計	公立	私立		計	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳		5歳
平成27年度	53	3	50	214	6,216	232	815	920	1,427	1,471	1,351	-
28	67	4	63	255	7,841	341	1,024	1,165	1,753	1,834	1,724	1,374
29	71	4	67	275	8,389	383	1,167	1,234	1,879	1,895	1,831	1,819

(学級数は0人の学級を含む)

3 小学校

(1) 学校数は275校(国立1校、公立273校、私立1校)で、前年度より公立が12校減少している。

表 3 設置者別学校数(小学校) (単位:校)

区 分	計	国 立	公 立			私 立
			計	本 校	分 校	
平成22年度	326	1	324	312	12	1
23	321	1	319	308	11	1
24	309	1	307	296	11	1
25	304	1	302	291	11	1
26	298	1	296	287	9	1
27	296	1	294	284	10	1
28	287	1	285	276	9	1
29	275	1	273	265	8	1

(2) 学級数は2,794学級で、前年度より35学級減少している。

学級種別で見ると、単式学級が2,311学級、複式学級が103学級、特別支援学級が380学級で、前年度よりそれぞれ37学級減少、15学級減少、17学級増加している。

また、特別支援学級の全体に占める割合は13.6%で、前年度より0.8ポイント上昇している。

1校当たりの学級数は10.2学級で、前年度より0.3学級増加している。

表 4 学級数(小学校) (単位:学級)

区 分	計	単式学級	複式学級	特別支 援学級	特別支援学 級の占める 割合(%)	1校当たり の学級数
平成22年度	2,918	2,526	154	238	8.2	9.0
23	2,918	2,502	152	264	9.0	9.1
24	2,878	2,454	133	291	10.1	9.3
25	2,874	2,415	133	326	11.3	9.5
26	2,866	2,390	134	342	11.9	9.6
27	2,882	2,388	125	369	12.8	9.7
28	2,829	2,348	118	363	12.8	9.9
29	2,794	2,311	103	380	13.6	10.2

- (3) 児童数は59,443人(男子30,257人、女子29,186人)で、前年度より692人減少している。児童数は昭和58年度以降毎年減少が続いている。
1学級当たりの児童数は21.3人で、前年度と同数になっている。

表 5 学年別児童数 (小学校) (単位:人)

区 分	計	学 年 別 児 童 数					
		1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年
平成22年度	64,187	10,313	10,411	10,855	10,743	10,867	10,998
23	63,239	10,029	10,341	10,398	10,856	10,745	10,870
24	62,256	9,842	10,050	10,339	10,442	10,833	10,750
25	61,534	10,121	9,827	10,025	10,339	10,401	10,821
26	60,802	10,159	10,128	9,805	10,012	10,323	10,375
27	60,605	10,224	10,151	10,138	9,796	9,996	10,300
28	60,135	9,895	10,216	10,139	10,129	9,777	9,979
29	59,443	9,912	9,732	10,121	9,983	10,006	9,689

- (4) 教員数(本務者)は4,346人(男性1,634人、女性2,712人)で、前年度より80人減少している。男女別にみると、前年度より男性教員は8人減少し、女性教員は72人減少している。また、男女別の構成比は、男性教員37.6%、女性教員62.4%で、昭和56年度以降連続して女性教員が男性教員を上回っている。

本務教員1人当たりの児童数は13.7人で、前年度より0.1人増加している。

表 6 教員数 (本務者) (小学校) (単位:人)

区 分	計	男	女	国 立	公 立	私 立
平成22年度	4,560	1,610	2,950	25	4,520	15
23	4,615	1,632	2,983	25	4,573	17
24	4,561	1,616	2,945	26	4,518	17
25	4,533	1,619	2,914	26	4,490	17
26	4,505	1,634	2,871	26	4,462	17
27	4,497	1,652	2,845	26	4,454	17
28	4,426	1,642	2,784	27	4,382	17
29	4,346	1,634	2,712	27	4,302	17

4 中学校

(1) 学校数は138校(国立1校、公立133校、私立4校)で、前年度より公立が2校減少している。

表 7 設置者別学校数(中学校) (単位:校)

区 分	計	国 立	公 立	私 立
平成22年度	142	1	136	5
23	142	1	136	5
24	143	1	137	5
25	140	1	134	5
26	140	1	134	5
27	140	1	135	4
28	140	1	135	4
29	138	1	133	4

(2) 学級数は1,188学級で、前年度より34学級減少している。

学級種別でみると、単式学級が1,013学級、特別支援学級が175学級で、前年度よりそれぞれ31学級減少、3学級減少となっている。また、特別支援学級の全体に占める割合は14.7%で、前年度より0.1ポイント上昇している。

1校当たりの学級数は8.6学級で、前年度より0.1学級減少している。

なお、複式学級は、昭和49年度から該当なしとなっている。

表 8 学級数(中学校) (単位:学級)

区 分	計	単式学級	複式学級	特別支 援学級	特別支援学 級の占める 割合(%)	1校当たり の学級数
平成22年度	1,227	1,129	-	98	8.0	8.6
23	1,247	1,126	-	121	9.7	8.8
24	1,254	1,112	-	142	11.3	8.8
25	1,251	1,105	-	146	11.7	8.9
26	1,242	1,083	-	159	12.8	8.9
27	1,235	1,065	-	170	13.8	8.8
28	1,222	1,044	-	178	14.6	8.7
29	1,188	1,013	-	175	14.7	8.6

(3) 生徒数は29,958人(男子15,376人、女子14,582人)で、前年度より1,195人減少している。生徒数は昭和63年度以降減少傾向が続いている。

1学級当たりの生徒数は25.2人で、前年度より0.3人減少している。

表 9 学年別生徒数 (中学校) (単位:人)

区 分	計	学 年 別 生 徒 数		
		1 学 年	2 学 年	3 学 年
平成22年度	33,610	11,181	11,302	11,127
23	33,384	10,937	11,160	11,287
24	32,893	10,777	10,942	11,174
25	32,293	10,612	10,763	10,918
26	32,059	10,706	10,607	10,746
27	31,560	10,268	10,719	10,573
28	31,153	10,186	10,260	10,707
29	29,958	9,748	10,079	10,131

(4) 教員数(本務者)は2,610人(男性1,518人、女性1,092人)で、前年度より34人減少している。男女別にみると、前年度より男性教員は33人減少し、女性教員は1人減少している。また、男女別の構成比は、男子教員58.2%、女子教員41.8%となっている。

本務教員1人当たりの生徒数は11.5人で、前年度より0.3人減少している。

表 10 教員数 (本務者) (中学校) (単位:人)

区 分	計	男	女	学 校 種 別		
				国 立	公 立	私 立
平成22年度	2,739	1,622	1,117	22	2,664	53
23	2,730	1,611	1,119	22	2,654	54
24	2,729	1,604	1,125	22	2,658	49
25	2,707	1,603	1,104	22	2,635	50
26	2,707	1,592	1,115	22	2,630	55
27	2,678	1,565	1,113	22	2,608	48
28	2,644	1,551	1,093	22	2,565	57
29	2,610	1,518	1,092	22	2,532	56

5 義務教育学校

- (1) 今年度より1校(公立1校)新設されている。
- (2) 学級数は39学級となっている。
学級種別でみると、単式学級が32学級、特別支援学級が7学級となっている。
- (3) 生徒数は1,026人(男子516人、女子510人)となっている。
1学級当たりの生徒数は26.3人となっている。
- (4) 教員数(本務者)は62人(男性26人、女性36人)となっている。
男女別の構成比は、男子教員41.9%、女子教員58.1%となっている。
本務教員1人当たりの生徒数は16.5人となっている。

表 1 1 学年別児童生徒数(義務教育学校) (単位:人)

区 分	計	学 年 別 児 童 生 徒 数								
		1 学 年	2 学 年	3 学 年	4 学 年	5 学 年	6 学 年	7 学 年	8 学 年	9 学 年
平成29年度	1,026	121	127	92	118	124	93	120	115	116

6 高等学校（全日制・定時制）

- (1) 学校数は55校(公立41校、私立14校)で、前年度より公立が3校減少している。
課程別にみると、全日制51校、定時制1校、全日制・定時制併置校3校となっている。

表 1 2 学校数（高等学校） (単位：校)

区 分	計	公 立			私 立	
		計	全日制	定時制	併置	全日制
平成22年度	65	51	43	2	6	14
23	63	49	43	2	4	14
24	64	50	44	2	4	14
25	64	50	46	1	3	14
26	62	48	44	1	3	14
27	60	46	42	1	3	14
28	58	44	40	1	3	14
29	55	41	37	1	3	14

- (2) 学科数(本科)は102学科(普通科40、農業科9、工業科14、商業科14、家庭科6、看護科6、福祉科4、総合学科4、水産科1、その他4)で、前年度より3学科減少している。

全学科に占める割合は、普通科が39.2%で最も高く、以下工業科が13.7%、商業科13.7%の順となっている。

- (3) 生徒数は31,848人(本科31,305人、専攻科543人)で、前年度より3人減少している。
男女別にみると、男子16,001人(本科15,929人、専攻科72人)、女子15,847人(本科15,376人、専攻科471人)となっている。(表13参照)

本科の学科別にみると、普通科が18,289人(58.4%)で最も多く、次いで工業科4,395人(14.0%)、商業科2,848人(9.1%)の順となっている。

図 2 学科別生徒数（本科）及び学科数（本科）の構成比（高等学校）

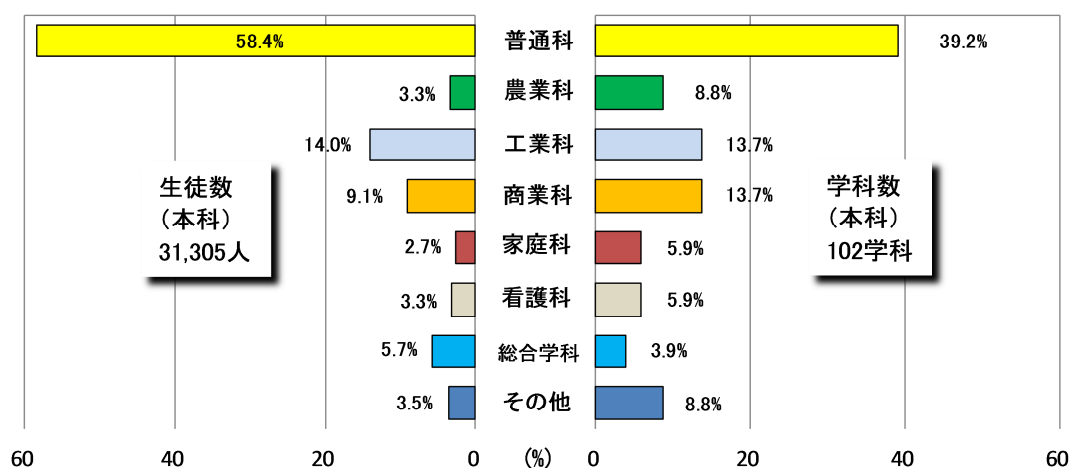


表 13 学年別生徒数（高等学校）（単位：人）

区 分	計	本 科					専攻科
		計	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	
平成22年度	34,179	33,724	11,882	11,000	10,783	59	455
23	33,865	33,384	11,108	11,492	10,707	77	481
24	33,746	33,290	11,291	10,844	11,098	57	456
25	33,105	32,680	11,083	10,942	10,549	106	425
26	32,787	32,336	10,813	10,769	10,646	108	451
27	32,226	31,750	10,654	10,488	10,502	106	476
28	31,851	31,322	10,570	10,390	10,247	115	529
29	31,848	31,305	10,761	10,319	10,186	39	543

表 14 学科別生徒数（本科）（高等学校）（単位：人）

区 分	本科計	普通	農業	工業	商業	水産	家庭	看護	福祉	総合 学科	その他
平成22年度	33,724	19,747	1,273	4,609	3,241	115	839	793	336	2,263	508
23	33,384	19,460	1,193	4,642	3,175	114	882	863	329	2,198	528
24	33,290	19,485	1,052	4,617	3,154	113	890	914	353	2,162	550
25	32,680	19,037	1,002	4,623	3,041	113	905	989	375	2,040	555
26	32,336	18,789	1,005	4,533	2,989	113	904	1,027	445	2,007	524
27	31,750	18,403	1,070	4,471	2,855	101	899	1,056	471	1,918	506
28	31,322	18,153	1,044	4,420	2,858	102	856	1,046	471	1,832	540
29	31,305	18,289	1,025	4,395	2,848	105	839	1,019	460	1,792	533

(4) 教員数(本務者)は2,685人(男性1,834人、女性851人)で、前年度より14人減少している。男女別にみると、前年度より男性教員は6人減少し、女性教員は8人減少している。また、男女別の構成比は、男性68.3%、女性31.7%となっている。設置者別にみると、公立1,992人(74.2%)、私立693人(25.8%)となっている。

表 15 教員数（本務者）（高等学校）（単位：人）

区 分	計	公 立			私 立		
		計	男	女	計	男	女
平成22年度	2,822	2,211	1,568	643	611	387	224
23	2,770	2,138	1,526	612	632	406	226
24	2,741	2,114	1,502	612	627	409	218
25	2,699	2,077	1,470	607	622	406	216
26	2,698	2,054	1,448	606	644	421	223
27	2,659	2,012	1,403	609	647	420	227
28	2,699	2,004	1,395	609	695	445	250
29	2,685	1,992	1,386	606	693	448	245

7 特別支援学校

- (1) 学校数は、17 校(国立 1 校、県立 16 校)で、前年度と同数になっている。
- (2) 学級数は、404 学級で、前年度より 16 学級増加している。
- (3) 在学者数は、1,398 人(男子 873 人、女子 525 人)で、前年度より 65 人増加している。
部別にみると、幼稚部 12 人、小学部 391 人、中学部 345 人、高等部 650 人になっている。
- (4) 教員数(本務者)は、971 人(男性 362 人、女性 609 人)で、前年度より 63 人増加している。
- (5) 通学状況についてみると、家庭から通学している者が 1,230 人で最も多く、次いで児童福祉施設からが 96 人、医療機関からが 44 人、寄宿舎からが 28 人となっている。

表 16 特別支援学校の状況 (単位：校、学級、人)

区 分	学校数	学級数	在学者数	本 務 教 員 数		
				計	男	女
平成22年度	17	356	1,126	889	375	514
23	17	368	1,153	906	365	541
24	17	379	1,189	918	370	548
25	17	382	1,215	919	375	544
26	17	383	1,225	912	367	545
27	17	390	1,309	928	360	568
28	17	388	1,333	908	335	573
29	17	404	1,398	971	362	609

表 17 部別在学者数(特別支援学校) (単位：人)

区 分	総 数			幼稚部	小学部	中学部	高等部
	計	男	女				
平成22年度	1,126	696	430	17	320	289	500
23	1,153	720	433	12	333	280	528
24	1,189	755	434	11	351	297	530
25	1,215	770	445	16	351	311	537
26	1,225	772	453	13	352	332	528
27	1,309	835	474	14	367	352	576
28	1,333	870	463	12	384	344	593
29	1,398	873	525	12	391	345	650

8 専修学校

- (1) 学校数は、46 校(公立 1 校、私立 45 校)で、前年度と同数になっている。
- (2) 生徒数は、4,586 人(公立 98 人、私立 4,488 人)で、前年度より 84 人減少している。
男女別にみると、男子 1,884 人、女子 2,702 人となっている。
学科別にみると、最も多いのは医療関係 2,740 人(59.7%)で、次いで文化・教養関係 567 人(12.4%)、工業関係 564 人(12.3%)の順となっている。
- (3) 教員数(本務者)は、399 人で、前年度より 12 人増加している。

表 18 学科別生徒数(専修学校) (単位:人)

区 分	合計	工業 関係	農業 関係	医療 関係	衛生 関係	教育・ 社会福 祉関係	商業 実務 関係	服飾・ 家政 関係	文化・ 教養 関係
平成22年度	5,204	608	94	2,949	435	190	133	128	667
23	5,187	596	94	2,995	457	197	119	98	631
24	5,018	581	94	3,011	402	160	118	82	570
25	5,055	596	89	3,041	414	166	130	60	559
26	5,054	625	97	2,955	409	162	172	65	569
27	4,897	612	107	2,904	318	135	198	35	588
28	4,670	544	96	2,857	259	138	177	29	570
29	4,586	564	98	2,740	291	135	176	15	567

9 各種学校

- (1) 学校数は、14 校(公立 2 校、私立 12 校)で、前年度と同数となっている。
- (2) 生徒数は、1,664 人(公立 266 人、私立 1,398 人)で、前年度より 50 人増加している。
男女別にみると、男子 825 人、女子 839 人となっている。
学科別にみると、最も多いのはその他(自動車操縦を含む)1,197 人(71.9%)で、次いで文化・教養関係 129 人(7.8%)の順となっている。
- (3) 教員数(本務者)は、133 人で、前年度より 6 人増加している。

表 19 課程別生徒数(各種学校) (単位:人)

区 分	合計	工業 関係	農業 関係	医療 関係	衛生 関係	教育・ 社会福 祉関係	商業 実務 関係	服飾・ 家政 関係	文化・ 教養 関係	その他
平成22年度	1,998	40	-	42	-	-	180	80	285	1,371
23	1,713	38	-	44	-	-	311	85	90	1,145
24	1,789	45	-	107	-	-	175	107	103	1,252
25	1,855	43	-	103	-	-	170	114	132	1,293
26	1,873	35	-	92	-	-	188	86	155	1,317
27	1,606	55	-	54	-	-	161	108	194	1,034
28	1,614	43	-	91	-	-	141	103	136	1,100
29	1,664	23	-	87	7	-	121	100	129	1,197

[2] 卒業後の状況調査 (平成 29 年 3 月卒業者)

1 中学校卒業者

(1) 卒業者数は 10,709 人(男子 5,463 人、女子 5,246 人)で、前年度より 120 人増加している。

卒業者を進路別にみると、高等学校等進学者 10,603 人、専修学校(高等課程)進学者 2 人、公共職業能力開発施設等入学者 1 人、就職者 48 人、その他 55 人となっている。

表 20 進路別卒業生数 (中学校) (単位:人、%)

区 分	卒業生数 (A+B+C+ D+E+F)	高等学校 等進学者	専修学校 (高等課程) 進学者	専修学校 (一般課程) 等入学者	公共職業 能力開発 施設等 入学者	就職者	その他	(再掲) A, B, C, D のうち 就職者	高等学校 等進学率	卒業生に占 める就職者 の割合	就職者の うち県内 に就職し た割合
	T	A	B	C	D	E	F	G	A/T×100	就職者総数 (E+G)/T ×100	
平成22年3月	11,890	11,722	2	3	1	51	111	1	98.6	0.4	82.7
23	11,147	10,992	4	7	3	54	87	7	98.6	0.5	86.9
24	11,297	11,140	-	-	8	61	88	4	98.6	0.6	83.1
25	11,174	11,042	3	4	3	39	83	-	98.8	0.3	97.4
26	10,921	10,804	3	2	-	37	75	6	98.9	0.4	86.0
27	10,743	10,596	2	6	3	52	84	8	98.6	0.6	81.7
28	10,589	10,483	4	4	2	32	64	6	99.0	0.4	92.1
29	10,709	10,603	2	-	1	48	55	5	99.0	0.5	86.8

(2) 高等学校等進学者数は 10,603 人(男子 5,398 人、女子 5,205 人)で、前年度より 120 人増加している。進路区別にみると、高等学校本科 10,325 人(うち全日制男子 5,091 人、女子 4,993 人、定時制男子 66 人、女子 79 人、通信制男子 41 人、女子 55 人)、高等専門学校 178 人(男子 147 人、女子 31 人)、特別支援学校高等部本科 100 人(男子 53 人、女子 47 人)となっている。

高等学校等進学率は 99.0%(男子 98.8%、女子 99.2%)で、前年度と同率になっている。

(3) 就職者総数は 53 人(男子 42 人、女子 11 人)で、前年度より 15 人増加している。このうち、進学者及び入学者で就職している者は 5 人となっている。

就職者総数のうち県内に就職した者は 46 人で、前年度より 11 人増加している。就職者のうち県内に就職した割合は 86.8%で、前年度より 5.3 ポイント低下している。

表 2 1 設置者別・進路別卒業生数（中学校）

（単位：人、％）

区 分	合 計			国 立			公 立			私 立		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
T 卒業生数 (A+B+C+D+E+F+G)	10,709	5,463	5,246	157	79	78	10,292	5,238	5,054	260	146	114
A 高等学校等進学者	10,603	5,398	5,205	157	79	78	10,187	5,173	5,014	259	146	113
計	10,325	5,198	5,127	155	78	77	9,911	4,974	4,937	259	146	113
高等学校	10,084	5,091	4,993	154	78	76	9,671	4,867	4,804	259	146	113
本科（全日制）	145	66	79	1	-	1	144	66	78	-	-	-
本科（定時制）	96	41	55	-	-	-	96	41	55	-	-	-
本科（通信制）	178	147	31	2	1	1	176	146	30	-	-	-
高等専門学校	100	53	47	-	-	-	100	53	47	-	-	-
特別支援学校・高等部本科	2	-	2	-	-	-	2	-	2	-	-	-
B 専修学校（高等課程）進学者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C 専修学校（一般課程）等入学者	1	1	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
D 公共職業能力開発施設等入学者	48	38	10	-	-	-	48	38	10	-	-	-
E 就職者	53	25	28	-	-	-	52	25	27	1	-	1
F 上記以外の者	2	1	1	-	-	-	2	1	1	-	-	-
G 不詳・死亡の者	5	4	1	-	-	-	5	4	1	-	-	-
H (再掲)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Aのうち就職している者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Bのうち就職している者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Cのうち就職している者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Dのうち就職している者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高等学校等進学率 A/T×100	99.0	98.8	99.2	100.0	100.0	100.0	99.0	98.8	99.2	99.6	100.0	99.1
卒業者に占める就職者の割合 就職者総数(E+H)/T×100	0.5	0.8	0.2	-	-	-	0.5	0.8	0.2	-	-	-
高等学校本科（全日・定時）への 入学志願者数	10,254	5,169	5,085	155	78	77	9,840	4,945	4,895	259	146	113

(4) 就職先を産業別にみると、第1次産業2人(3.8%)、第2次産業24人(45.3%)、第3次産業22人(41.5%)、その他・不詳5人(9.4%)となっている。

前年度に比べ第1次産業は同数、第2次産業は6人増加、第3次産業は10人増加、その他・不詳は1人減少となっている。

表 2 2 産業別就職者数（中学校）（単位：人）

区 分	計	男	女
計	53	42	11
第1次産業	2	2	-
第2次産業	24	24	-
第3次産業	22	11	11
その他・不詳	5	5	-

2 高等学校（全日制・定時制）卒業生

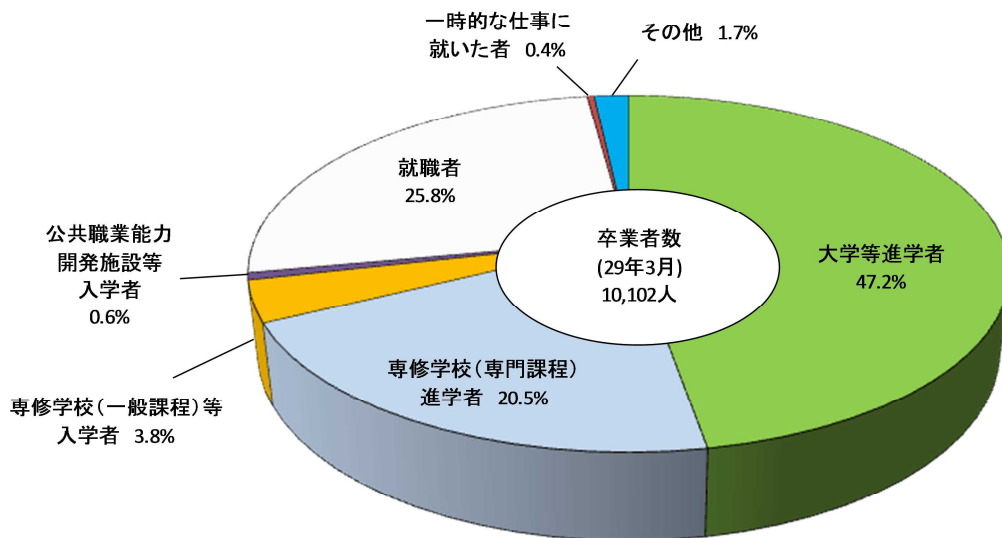
(1) 卒業生数は 10,102 人(男子 4,943 人、女子 5,159 人)で、前年度より 241 人減少している。

進路別内訳をみると、大学等進学者 4,772 人(47.2%)、専修学校(専門課程)進学者 2,066 人(20.5%)、専修学校(一般課程)等入学者 379 人(3.8%)、公共職業能力開発施設等入学者 64 人(0.6%)、就職者 2,609 人(25.8%)、一時的な仕事に就いた者 36 人(0.4%)、その他 176 人(1.7%)となっている。

表 2 3 進路別卒業生数（高等学校） (単位：人、%)

区 分	卒業生数 (A+B+C+ D+E+F+G)	大学等 進学者	専修学校 (専門課程) 進学者	専修学校 (一般課程) 等入学者	公共職業 能力開発 施設等 入学者	就職者	一時的 な仕事 に就い た者	その他	(再掲) A, B, C, D のうち 就職者	大学等 進学率 A/T×100	卒業生に占 める就職者 の割合 就職者総数 (E+H)/T ×100	就職者の うち県内 に就職し た割合
	T	A	B	C	D	E	F	G	H			
平成22年3月	10,982	5,146	2,193	453	75	2,705	87	323	55	46.9	25.1	78.8
23	10,662	5,059	2,128	476	53	2,699	51	196	71	47.4	26.0	77.7
24	10,621	4,859	2,150	415	77	2,807	108	205	36	45.7	26.8	78.6
25	11,001	5,007	2,308	430	73	2,841	67	275	44	45.5	26.2	78.5
26	10,419	4,737	2,196	353	74	2,739	54	266	26	45.5	26.5	78.3
27	10,517	4,943	2,211	302	76	2,746	53	186	25	47.0	26.3	74.7
28	10,343	4,798	2,118	308	69	2,757	56	237	19	46.4	26.8	75.4
29	10,102	4,772	2,066	379	64	2,609	36	176	35	47.2	26.2	74.0

図 3 進路別卒業生の構成比（高等学校）



(2) 大学等進学者数は 4,772 人(男子 2,127 人、女子 2,645 人)で、前年度より 26 人減少している。進路区分別にみると、大学学部 3,663 人(男子 1,990 人、女子 1,673 人)、短期大学本科 835 人(男子 103 人、女子 732 人)、大学・短期大学の通信教育部 4 人(男子 2 人、女子 2 人)、高等学校の専攻科 270 人(男子 32 人、女子 238 人)となっている。

大学等進学率は 47.2%(男子 43.0%、女子 51.3%)で、前年度より 0.8 ポイント上昇している。なお、大学等進学率の全国平均は 54.7%(男子 52.1%、女子 57.3%)で、大分県は九州第 2 位、全国第 31 位の進学率となっている。

表 2 4 設置者別・進路別卒業生数（高等学校）（単位：人、％）

区 分	合 計			公 立			私 立		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女
T 卒業生数 (A+B+C+D+E+F+G+H)	10,102	4,943	5,159	7,517	3,771	3,746	2,585	1,172	1,413
A 大学等進学者	4,772	2,127	2,645	3,578	1,619	1,959	1,194	508	686
大学（学部）	3,663	1,990	1,673	2,928	1,542	1,386	735	448	287
短期大学（本科）	835	103	732	640	69	571	195	34	161
大学・短期大学の通信教育部	4	2	2	1	1	-	3	1	2
大学・短期大学の別科	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高等学校・専攻科	270	32	238	9	7	2	261	25	236
特別支援学校・高等部専攻科	-	-	-	-	-	-	-	-	-
B 専修学校（専門課程）進学者	2,066	836	1,230	1,484	616	868	582	220	362
C 専修学校（一般課程）等入学者	379	223	156	298	169	129	81	54	27
D 公共職業能力開発施設等入学者	64	59	5	58	53	5	6	6	-
E 就職者	2,609	1,603	1,006	1,962	1,250	712	647	353	294
正規の職員等	2,594	1,600	994	1,949	1,247	702	645	353	292
正規の職員等ではない者	15	3	12	13	3	10	2	-	2
F 一時的な仕事に就いた者	36	17	19	11	7	4	25	10	15
G 上記以外の者	172	76	96	125	56	69	47	20	27
H 不詳・死亡の者	4	2	2	1	1	-	3	1	2
I （再掲）A～Dのうち就職している者	35	9	26	26	7	19	9	2	7
正規の職員等	32	7	25	23	5	18	9	2	7
正規の職員等ではない者	3	2	1	3	2	1	-	-	-
大学等進学率 A/T×100	47.2	43.0	51.3	47.6	42.9	52.3	46.2	43.3	48.5
卒業生に占める就職者の割合 就職者総数(E+I)/T×100	26.2	32.6	20.0	26.4	33.3	19.5	25.4	30.3	21.3

表 2 5 大学（学部）・短期大学（本科）への入学志願状況（高等学校）（単位：人、％）

区 分	大学（学部）・短期大学（本科）への入学志願者数（現役） A			大学（学部）・短期大学（本科）への進学者数 B			大学（学部）・短期大学（本科）進学達成率（％） B/A×100
	大学（学部）		短期大学（本科）	大学（学部）		短期大学（本科）	
	大学（学部）	短期大学（本科）		大学（学部）	短期大学（本科）		
平成22年3月	5,268	4,288	980	4,938	3,964	974	93.7
23	5,248	4,316	932	4,894	3,982	912	93.3
24	5,192	4,354	838	4,646	3,822	824	89.5
25	5,363	4,443	920	4,797	3,896	901	89.4
26	5,028	4,136	892	4,508	3,626	882	89.7
27	5,060	4,130	930	4,694	3,781	913	92.8
28	4,914	4,043	871	4,589	3,730	859	93.4
29	4,887	4,042	845	4,498	3,663	835	92.0

(3) 就職者総数は2,644人(男子1,612人、女子1,032人)で、前年度より132人減少している。進学者及び入学者のうち就職している者は35人となっている。

卒業生に占める就職者の割合は26.2%(男子32.6%、女子20.0%)で、前年度より0.6ポイント低下している。なお、卒業生に占める就職者の割合の全国平均は17.8%(男子21.5%、女子14.0%)で、前年度より0.1ポイント低下している。

卒業生に占める就職者の割合を学科別にみると、高い順に、水産科75.8%、工業科72.7%、農業科67.8%、福祉科49.4%、家庭科49.2%、商業科43.0%の順となっている。

就職者総数のうち県内に就職した者は1,956人で、前年度より137人減少し、就職者のうち県内に就職した割合は74.0%で、前年度より1.4ポイント低下している。

表 2 6 学科別進路別卒業生数 (高等学校)

(単位：人、%)

区 分	卒業生数 (A+B+C+ D+E+F+G)	大学等 進学者	専修学校 (専門課程) 進学者	専修学校 (一般課程) 等入学者	公共職業 能力開発 施設等 入学者	就職者	一時的 な仕事 に就い た者	その他	(再掲) A, B, C, D のうち 就職者	大学等 進学率	卒業生に占 める就職者 の割合
	T	A	B	C	D	E	F	G	H	A/T×100	(E+H)/T ×100
計	10,102	4,772	2,066	379	64	2,609	36	176	35	47.2	26.2
普通科	5,836	3,658	1,105	325	42	562	13	131	9	62.7	9.8
農業科	335	28	72	1	5	225	1	3	2	8.4	67.8
工業科	1,417	146	203	9	12	1,029	9	9	1	10.3	72.7
商業科	928	202	310	10	4	384	4	14	15	21.8	43.0
水産科	33	7	-	1	-	25	-	-	-	21.2	75.8
家庭科	264	72	44	6	-	130	5	7	-	27.3	49.2
看護科	340	271	57	-	-	11	1	-	-	79.7	3.2
福祉科	162	30	44	9	-	74	3	2	6	18.5	49.4
総合学科	619	243	214	11	1	144	-	6	2	39.3	23.6
その他	168	115	17	7	-	25	-	4	-	68.5	14.9

図 4 進学率等の推移 (高等学校)

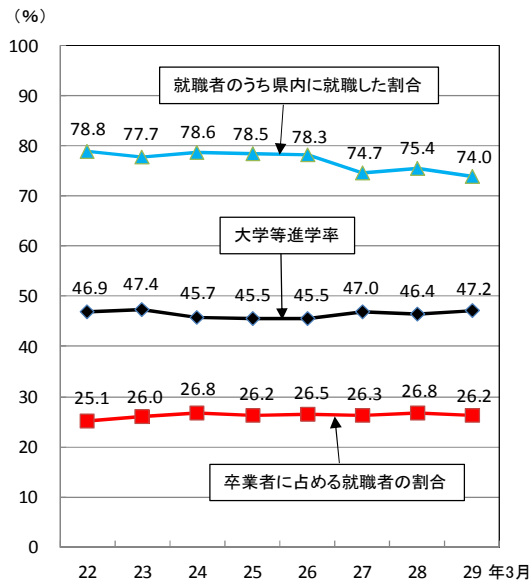


図 5 学科別進学率・就職者の割合 (高等学校)

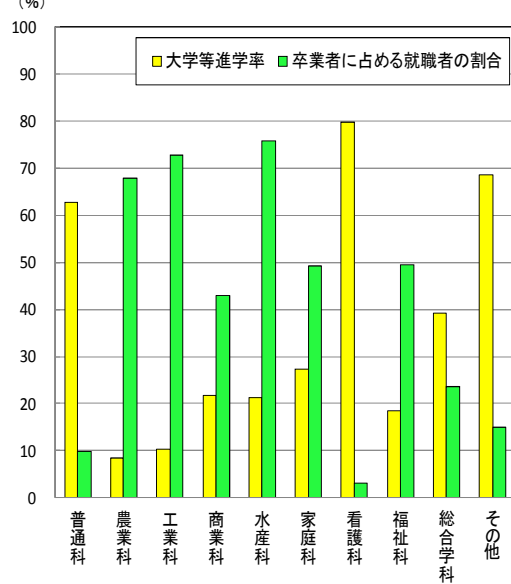


表 2 7 地元就職率の比較 (高等学校)

(単位：%)

区 分	地元 就職率	区 分	地元 就職率	区 分	地元 就職率	区 分	地元 就職率
[全国]	81.2	千葉	79.7	三重	86.1	徳島	73.4
北海道	92.5	東京	90.7	滋賀	90.7	香川	88.4
青森	57.5	神奈川	79.3	京都	83.7	愛媛	79.0
岩手	67.8	新潟	90.9	大阪	92.7	高知	63.0
宮城	81.7	富山	91.8	兵庫	85.6	福岡	80.2
秋田	65.0	石川	92.8	奈良	59.5	佐賀	59.0
山形	77.8	福井	87.3	和歌山	75.5	長崎	63.0
福島	82.1	山梨	88.7	鳥取	75.7	熊本	57.5
茨城	84.9	長野	90.5	島根	75.3	大分	74.0
栃木	81.7	岐阜	76.6	岡山	81.7	宮崎	55.8
群馬	88.3	静岡	92.2	広島	90.2	鹿児島	55.5
埼玉	70.7	愛知	96.0	山口	80.2	沖縄	71.4

(4) 就職者総数を職業別にみると、生産工程従事者が1,017人(38.5%)で最も多くなっている。

表 28 職業別就職状況(高等学校) (単位:人)

区 分	計	男	女
計	2,644	1,612	1,032
専門的・技術的職業従事者	257	197	60
事務従事者	187	31	156
販売従事者	225	55	170
サービス職業従事者	471	133	338
保安職業従事者	106	84	22
農林業従事者	32	19	13
漁業従事者	7	7	-
生産工程従事者	1,017	787	230
輸送・機械運転従事者	89	84	5
建設・採掘従事者	130	126	4
運搬・清掃等従事者	47	37	10
その他	76	52	24

(5) 就職者総数を産業別にみると、製造業が990人(37.4%)で最も多く、次いで建設業274人(10.4%)、卸売業、小売業264(10.0%)の順となっている。

また、県内就職者1,956人(男子1,118人、女子838人)では、製造業が709人(36.2%)で最も多く、次いで卸売業、小売業225人(11.5%)、建設業187人(9.6%)の順となっている。

県外就職者688人(男子494人、女子194人)を就職先の都道府県別で見ると、第1位が福岡県261人(37.9%)で最も多く、次いで愛知県89人(12.9%)、東京都85人(12.4%)、大阪府56人(8.1%)の順となっている。

表 29 産業別就職状況(高等学校) (単位:人)

区 分	就職者総数			うち県内就職者		
	計	男	女	計	男	女
計	2,644	1,612	1,032	1,956	1,118	838
農業, 林業	28	16	12	26	14	12
漁業	6	5	1	6	5	1
鉱業, 採石業, 砂利採取業	6	6	-	6	6	-
建設業	274	249	25	187	167	20
製造業	990	732	258	709	503	206
電気・ガス・熱供給・水道業	39	36	3	19	19	-
情報通信業	9	6	3	5	3	2
運輸業, 郵便業	133	104	29	86	69	17
卸売業, 小売業	264	82	182	225	72	153
金融業, 保険業	36	-	36	35	-	35
不動産業, 物品賃貸業	16	9	7	12	6	6
学術研究, 専門・技術サービス業	39	28	11	25	15	10
宿泊業, 飲食サービス業	179	66	113	141	51	90
生活関連サービス業, 娯楽業	111	31	80	83	20	63
教育, 学習支援業	8	2	6	4	-	4
医療, 福祉	202	41	161	184	38	146
複合サービス事業	37	17	20	33	16	17
サービス業(他に分類されないもの)	91	49	42	58	28	30
公務(他に分類されるものを除く)	144	118	26	89	74	15
その他	32	15	17	23	12	11